



こひつじ会初の有床診療所「高洲訪問クリニック」の完成予想図

試験で勉強したこと
は、実際に現場で活か
されています。今年グ
ループに加わった病院
を訪問した際、平均在
院日数や病床稼働率と
いった病院の経営状況
を確認する手法がスラ
スラと出てきて、自分
でも驚きました。連携
室がなく、MSWがい

ないため、退院調整や地域の医療
機関との連携がうまくとれていな
い状況だったため、2月に人員を
配置することにしました。このよ
うに、人事担当といえども経営全
体が見えることが必要で、医療経
営士はそのための大事な資格だと
実感できました。

PROFILE
よこた・やすひろ
1982年生まれ。2005年、法政大学工学部卒
業。NECソフト株式会社で流通系SE、株式会社
インテリジェンスで採用支援事業部に勤務後、
09年に医療系職業紹介会社を起業。10年、こ
ひつじ会グループに入職し、11年3月に医療経
営士3級に合格。

経営企画室ではどのような仕
事をされていますか。

こひつじ会グループでは、10診
療所、7在宅介護事業所、4特別
養護老人ホームのほか、健康づく
りの観点からフィットネスクラブ
の運営も手がけています。一貫し
て医療・福祉サービスをメインに
事業展開していますが、今年春に
は千葉市と柏市に当グループ初の
有床診療所を、今年夏には日本人
産業医が常駐する日系クリニック
をベトナム・ハノイにオープンさせ
ます。事業には主に採用担当とし
て携わっています。いかにいい人材
を獲得するかは、どの企業でも課
題となっていますし、人材はグルー
プの「ブランドづくり」にもつなが
ると考えています。

また、単に優秀な人材を採用さ
えすればいいというわけではなく、
当グループ全体のプロジェクトの
進行状況を見て、うまくいってい
ない部分に気がつけばリーダーや
事務長などの運営者に助言したり
するのも、私の役目だと思ってい
ます。

そのほか、ICT委員会の委員
として、グループ内情報のシステ
ム化にもかかわっています。当グ

医療経営士の現場力 Vol.7

こひつじ会グループ
経営企画室人事部

横田 泰洋

医療経営士 3級

医療経営を学ぶことで 経営全体が見え 人事担当としての 仕事にもつながる



「医療・介護・健康づくり・生活支援のトータルサービス」をうた
い、千葉県を中心に診療所と在宅介護支援事業所など、幅広い
事業展開を行っているこひつじ会グループ。横田氏は経営
企画室の人事担当として採用をメインに、情報共有の仕組み
づくりなどの面からも経営の中核にかかわっている。

グループはさまざまな事業形態の集
合体で、サテライト展開をしてい
ます。面接などでサテライトの事
業所に行く機会があれば、1人で
も多くの人と顔を合わせ、話すよ
うにしていますが、情報が共有し
にくく、人事面でもすべてを把握
することが難しいです。そのため
システムづくりが重要になります。

——そもそも、医療業界にどうし
て興味を持たれたのですか。
医療・福祉業界で起業したい、
行政でできないことをして人の役
に立てないかと、大学受験時には
考えていました。そのきっかけは、
小学6年生の時に祖父をがんで亡
くしたことです。最期を自宅で看
取ることができず、「またお見舞い
に来るね」と言って病院を後にした
のが今生の別れとなってしまい、
とても悔やみました。その後、医
療過誤や高齢な入院患者の虐待、
患者の情報格差といったことを
ニュースで伝え聞き、何とかしたい
と考えるようになりました。その
ためには、ITの知識が必要不可
欠と考え、日本で唯一システム制御
という観点から幅広く工学を学べ
る大学への進学を決定しました。
卒業後はメーカーのSEとして

ITを、人材紹介会社のメデイカ
ル領域で人事部門のノウハウを学
んだのも医療業界で働くためのス
テップでした。そのようなとき、「人
事部門を立ち上げてほしい」と当
グループの長沼信治CEOからあ
りがたい話をいただき、転職を決
意しました。現在は3年目となり
ます。

——医療経営士の資格を取得した
きっかけは何ですか。取得してど
う変わりましたか。

満を持して医療・福祉業界に入っ
てきたのですが、SEなどと違い、
医療の事務部門では実力をはかる
資格がないと思っていたときに、
医療経営士の資格を覚えてもらい
ました。テキストを見ると、まさ
に自分が求めていた内容で、自分
の立ち位置を確かめたいと思い、
受験しました。

勉強方法は、とにかくテキスト
を読み、わからないところはイン
ターネットで調べる——の繰り返し
です。試験日から逆
算してスケジュールを
立て、一定期間が経っ
たらおさらいし、理解
できているかを確認し
ます。主に通勤時間や
休日に暗記しました。

もう1つ、医療経営士の資格を
取ってよかったと思うのが、研究
会に参加できること。同じ志を持っ
ている人との話は楽しく、ために
なります。同じ課題や悩みを抱え
ていたり、自分とは違う視点を
持っていたりと、学びの機会がた
くさんあります。見聞を広められ
るだけでなく、医療業界における
人脈の構築など、自分の財産になっ
ていますね。

人事的な視点からいうと、医療
業界にいる人には医療経営士をめ
ざしてほしい。組織内でのキャリ
ア構築の1つの指標となるのでは
ないかと思っています。競争が激しい
昨今、医療を支える事務職の方は
特に自分で問題を見つけて解決す
る力をつけていかなければならな
いと思います。そのためにも、医
療経営士の資格は有効です。